

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	研究代表機関：大阪大学医学部附属病院 共同研究機関： 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター
研究課題名*	大阪臨床研究病院ネットワーク（OCR-net）を活用したがん薬物療法の有効性と安全性向上に資する多施設共同研究
所属科*	薬剤部
研究責任者*	研究代表者：大阪大学医学部附属病院 奥田真弘 共同研究責任者： 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 藤田敬子 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 野田拓誠 独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院 廣瀬孝一 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 村地康 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター 高木麻里
研究実施期間	開始 西暦 2025年 月 日 ～ 終了 西暦 2030年 12月 31日（予定）
対象疾患(予定症例数)	研究施設でがん薬物療法を受けた患者（360,000 症例）
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2000年 1月 1日 ～ 至 西暦 2030年 12月 31日
研究概要*	がん薬物療法の新規治療法が日々開発される一方で、臨床試験時には明らかではなかった有害事象や薬物相互作用等が臨床現場で明らかになることもある。患者個人の病態や併用薬に合わせて、がん薬物療法の最適化を図るにはリアルワールドデータの分析が必須である。大阪臨床研究病院ネットワーク（OCR-net）は、多施設共同臨床研究を適正かつ効率的に実施する体制を整備したネットワークで、大阪大学医学部附属病院を中心に、大阪府下 6 施設に共通データウェアハウス（DWH）が実装されている。この共通 DWH を用いて、がん薬物療法の有効性と安全性に関する知見を得ることを目的とする。各共同研究施設の課題に対して、事務局である大阪大学

別紙第 2 号様式

	医学部附属病院から必要な情報を提供し、施設毎に解析を行う。本研究は、多施設情報の効率的な解析を可能とし、質の高いエビデンスの創出によって、がん薬物療法の有効性と安全性の向上を目指す。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	本研究は主に OCR-net の共通 DWH から得られる情報を元に行われ、これらの情報は全て個人情報を削除し、カルテ番号などの連結符号を他の符号に置換した情報である。共通 DWH からは得られない情報（例、カルテ記事の情報）を用いる場合は、研究対象者のデータから氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて加工する。研究対象者とこの符号（番号）を結びつける表を自機関で作成し、個人情報管理者は外部に漏れないように厳重に保管する。受渡しは、特定の個人を識別することができない状態で取り扱う。
研究の問い合わせ先*	大阪大学医学部附属病院 薬剤部 新谷拓也 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 1 5 号 TEL. 06-6879-6004（薬剤部）

* 記入必須項目